

シェリーから学ぶスペイン史

● マンサニージャ・ラ・ヒターナ



すっきりとした辛口

19世紀にスペインの画家ホキン・トゥリナ氏によってタンパリンの中に描かれたロマ（ジプシー）の女性。このタンパリンは、今でもイダルゴ社の社長室に大切に保管されています。

19世紀後半に、ジョルジュ・ビゼーによって描かれたオペラ『カルメン』を象徴するような女性です。イダルゴ創業者の愛した女性だといわれています。

● アモンティリヤード・ナポレオン



まろやかな辛口

フランス皇帝・ナポレオンがスペインを占領していた時代、イダルゴ社は駐留していたフランス人相手にワインの高売を始めていました。中でもシェリーは評判が良く、ナポレオンの名前使用の許可出たほどでした。

ちなみに、イギリスでもシェリーの高売をしていたため、当時のイギリス軍の將軍ウェリントン の名前をつけた商品もあったそうです。

● オロロソ・ファラオン



豊かなコクのある辛口

ファラオンとは、ジプシーの間で使われていた言葉で、指導者という意味です。ラベルの絵のモチーフになったファラオンは、19世紀フランス軍がスペインを占領していた時代に、ジプシー等地元の人々を束ねてフランス軍相手にゲリラ活動を続けていた人物です。

● クリーム・アラメダ



やや甘口

アラメダとはスペイン語で並木道を意味します。スペイン南西部にあるカデイスのアラメダにちなんで名づけられました。

カデイスは昔から大西洋航路の発着港として栄え、カデイスのアラメダでシェリーを飲みながら交流を深めることはステータスとされていました。絵の女性は1950年代にヒターナ社でのポスターで使われていたキャラクターです。

● ペドロヒメネス・トゥリアナ



滑らかな甘口

ロドリゴ・トゥリアナはスペインの黄金期といわれる大航海時代に、女王イサベルの援助を受け、コロンブスと共に新大陸を目指し航海に出た人物です。

航海中に一番初めに陸地を発見した人物がこのトゥリアナだといわれています。ラベルの絵は、アメリカ大陸を発見した瞬間をモチーフにしています。